



▲復興拠点エリアに完成したメガソーラー



▲現地で行われた関係者らによるテープカット

6月1日、深谷地区の復興拠点エリアで、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の竣工式が行われ、地権者、県・村関係者ら約50人が出席しました。式では、菅野村長が「太陽光発電をエネルギーのひとつにして、さらなる村復興の姿を示していきたい」とあいさつし、関係者らがテープカットで稼働を祝いました。

今回、稼働が開始した発電所には、2.7ヘクタールの土地に太陽光パネル6930枚を設置。村・株式会社東芝・株式会社毎日映画社が合同出資した特別目的会社「いたて深谷地区ソーラー合同会社」が運営します。発電規模は、一般家庭450世帯の年間消費電力に相当する1700MWh/年で、今後20年間にわたり東北電力に全量売電します。この収益金は、同地区に村が建設している道の駅の運営費など復興事業の一部に充てられます。

## 深谷復興拠点 太陽光発電稼働

6月19日、村役場飯野支所前  
に北海道倶知安町から雪のプレゼントが届きました。

昨年引き続き2回目の開催となった「くっちゃん雪ダルマin飯館村」。この日は晴天に恵まれ、大勢の家族連れでにぎわいました。子どもたちは運び込まれた約6トンの雪で作られたすべり台や雪ダルマに大はしゃぎしていました。

## 千葉県山武市 あったかニュース

震災後から、村へあたたかな支援をいただいている千葉県山武市からのお便りをご紹介します。

6月17日、千葉県山武市で飯館村復興支援津軽三味線コンサートが開かれ、村出身で千葉市在住の民謡歌手 只野豊成さんと、オーストラリアで津軽三味線奏者として活躍する次女の徳子さんが出演しました。

当日は、小林将男さん（関沢）が避難先の山武市で育てた黒毛和牛のステーキや村民が避難先で作っている農産物加工品の販売、村産いちごを使用した紅茶の試飲も行われ、多くの来場者が村の味を満喫していました。



▲村仮設住宅を訪れたこともある只野親子が共演しました



▲山武市内の飲食店で提供されるなど、広がりを見せる小林さん(写真中央)の黒毛和牛です



▲多くの来場者が、村特産品を購入してくださいました

## 北海道倶知安町から、 大地の恵み 雪とじゃがいも 笑顔をお届け



## ～くっちゃん雪ダルマ in 飯館村～

### くっちゃんからのプレゼント

6月19日、村役場飯野支所前  
に北海道倶知安町から雪のプレゼントが届きました。

昨年引き続き2回目の開催となった「くっちゃん雪ダルマin飯館村」。この日は晴天に恵まれ、大勢の家族連れでにぎわいました。子どもたちは運び込まれた約6トンの雪で作られたすべり台や雪ダルマに大はしゃぎしていました。

### 飯館村と倶知安町のつながり

村では、平成10年から平成21年までの12年間、小学6年生を対象とした宿泊体験事業「海洋アドベンチャースクール」を実施。倶知安町をはじめ、北海道内でアイヌ文化の体験やカヌーでの川下り、地元の方との交流を行っていました。



鼻が北海道の大きな雪ダルマがお出迎えました



▲ほとばしる汗！迫力の羊蹄太鼓演奏も



▲おいしいじゃがいもが配られました

### イベント主催

くっちゃん21雪ダルマの会 会長

かしわ や まさ つく  
柏谷 匡胤さん

「飯館村、飯野町の皆さんに笑顔をお届けにやってきました。今後も、つながりを深めていきましょう！」



おいしい  
じゃがいも  
ありがとうー！